

拝啓 8月も早や下旬、今年の夏は、暑かったですね。特に蒸し暑い日が多かったように思います。お変わりございませんか。いつもエンカウンターをお読みいただきありがとうございます。近所の公園では、さるすべりの花が、炎天下に暑さに強いことを誇るかのように咲いています。

今月は、小西先生の「ローマ人への手紙講解説教」の第16回目です。通常はお一人の著作を12回で終るように努めているのですが、小西先生のロマ書は引用した箇所が多く、既に16回にもなりました。来月号で最終回になります。迫力がある説教です。この話を実際に教会で聞き、石館集会で聞き、今回は筆写し、エンカウンターに載せたわけです。全部で10回ぐらいは読んでるように思います。

8月3、4日は、長野県穂高町の鳥居勇夫さん、祝子さん御夫妻の別荘で開かれた名古屋聖書集会「安曇野の集い」に参加して来ました。この会には、いつも日野原重明先生がご出席になり、講演が聴けるということで参加するようになり、今年で4回目でした。学生時代からの信仰の友人下澤悦夫君を誘って一緒に参加して、国営アルプス安曇野公園を散策しながら、いろいろな話をして、愉快でした。今回も、鳥居さんの別荘で日野原先生達と共に夕食、朝食に招かれ、光栄でした。その際、日野原先生に石館守三先生の高円寺東教会での証言のテープが見つかったという話をしましたところ、是非聞きたいということで、4回分ほどカセットテープに移し、お送りしています。

翌日日野原先生は、南穂高のサンモリッツ大ホールで、1000人ほどの聴衆を前に、「いのちを耕す」と言う講演を元気いっぱいにされました。その後、島根県の和太鼓の演奏がありましたが、これが実に迫力がありました。

8月8、9日は、本誌読者の佐藤昭夫さんと二人で、北八が岳の北横岳と蓼科山に登山してきました。このコースは3回目でしたが、北横岳の頂上近くに七ツ池があり、初めて行ってみました。泊ったのは双子池ヒュッテですが、雄池と雌池の間にあり、夕食前太陽が雄池の湖面に反射してキラキラと輝く景色を見ながら、しばらく霊的な一時を過ごしました。

8月13日には、昨年の南原シンポジウムを収めた本『南原繁と新渡戸稲造』が出来上がりましたので、発送を手伝いました。この本は、途中から編集長になって編集しましたが、良い本が出来上がったと思っています。

まだしばらく暑い日が続きますが、どうぞ、お身体ご自愛のほど祈り申し上げます。

敬具

平成25年8月25日

山口周三

エンカウンターのご読者各位